

第 29 回京都府中学校空手道選手権大会開催時の遵守事項

- 体育館内での**食事、喫煙は厳禁**です。
※さくら体育館は 1.2 階ホールで、飲食のみ可
- 体育館内は、すべて**土足厳禁**です。観覧者も含め必ず室内用シューズ(革製以外)を各自用意して下さい。又、スリッパでの競技はしないで下さい。
- 館内での盗難等については、管理者は一切責任を負いません。貴重品等は各自で管理して下さい。
- 駐車場で**の滅失、事故等**については、管理者は一切責任を負いません。
- 体育館内の施設等を損傷、滅失したときは直ちに事務室に連絡して下さい。
- **さくら公園では駐車場が少ないので車はなるべく乗り合わせて来て下さい。**
- 使用者が出されたゴミは必ずお持ち帰り下さい！

入場前の対応

- 開場前に敷地内で待機する際は、密にならないよう間隔を確保すること。
- 会場内外に置いて参加者が距離をおいて並ぶこと。

受付時の対応

- 人と人が対面する場所は、アクリル板、透明ビニールカーテンなどで遮蔽する。
- 入場前に非接触による検温の実施。
- マスク非着用者と発熱（37.5℃以上）の症状のある人は入場不可とすること

その他

- 入場口・受付窓口に手指消毒剤を設置
- 試合を行っていない者はマスクの着用義務
- 入場時・受付スタッフには、マスク(フェイスシールドの併用推奨)及びゴム手袋を着用。
- 役員・審判員・監督・保護者・観客の入場は、「一般入場者連絡票」の提出を義務づける。
- 保護者が必要な大会とし、観客同士が密な状態とならないよう、観客席は一席以上空けること。
なお、引率の保護者も検温を義務付け、発熱や咳などの症状や体調がよくない場合は、入場をお断りする。
- 応援は、拍手のみとし声を出しての応援はしないこと。

<選手・監督による以下の行為は自粛すること>

- 飲食禁止 水分補給は可。
- 更衣室使用時以外は着替え禁止とする。
- 防具・タオルの使い回し、飲み物の回し飲みは禁止とする。

- 練習時はマスクまたは、メンホーを着用すること。
 - 練習会場内での私語は控える。
 - 写真撮影、サイン、握手、ハイタッチ、円陣等
 - グリーティングやお出迎え・お見送り
 - プレゼントやお手紙等の贈り物の授受
 - 選手同士の声を出しての応援、アドバイス
- ※選手が整列する時は、縦、横の間隔は1 m 以上は確保すること

<形>

- 試合場への入退場時はマスクを着用すること※試合時マスク着用の義務はない。
- 競技中の気合い発声は可とする
- 形名の呼称は行い、呼称と異なった形を演武した時は競技規定に則り反則とする。

<組手>

- 原則としてメンホー+メンホー用口元シールドの着用を義務付ける。
- ※ミズノ製のメンホー用口元シールドを推奨する
- 男子はファールカップを着装すること。
 - 赤帯・青帯は（公財）全日本空手道連盟で検定された帯を各自必ず持参すること。
- ※氏名、所属等の表示を認める。所属の表示は、「全日本空手道連盟」または「都道府県空手道連盟」、「所属中学校名」とすることが望ましい。 ※帯止めは使用しない。
- 監督は、白の空手着とする。監督IDカードは、受付時に監督に交付する。
（マスク及び配布されたフェイスシールドを着用すること。）
- ※空手着上衣の腰部の紐を結ぶこと。空手着上衣の胸部の紐はつけない。
- 競技場への入退場時はマスクを着用し、競技中はメンホー+メンホー用口元シールドを装着し、競技中の気合い発声は可とする。
 - 試合中メンホー或いは、マウスシールドが取れた場合、試合は一旦停止をし、コート内でのソーシャルディスタンスを保ち、防具を装着し、試合を再開する。

- ※ 1) 緊急事態宣言下の開催のため、運営にご協力いただける先生方が少ないので競技や感染対策に支障が出る可能性がありますので、監督をされる先生方にもご協力をお願い致します。
- ※ 2) 観客席が非常に狭いため、保護者の方々の御協力をお願い致します。

第29回 京都府中学校 空手道選手権大会

第29回全国中学生空手道選手権大会予選会



開催日／令和3年6月6日(日) 午前10時開始予定

会場／亀岡市さくら公園体育館

主催／京都府空手道連盟・京都府中学校空手道連盟

9:00~9:40

- | | | | | | |
|----|-----|---|-------|-------------|------|
| 1. | 受 | 付 | 9:00~ | 亀岡市さくら公園体育館 | 受付場所 |
| 2. | 審判会 | 議 | 9:15~ | 亀岡市さくら公園体育館 | 会場内 |

9:50~

開 始 式

- | | | |
|----|-------------|-----------------------------------|
| 1. | 開 式 通 告 | |
| 2. | 審判団・選手整列 | |
| 3. | 国 歌 斉 唱 | ※感染防止対策による時間短縮のため立礼のみ |
| 4. | 開 会 宣 言 | ※感染防止対策による時間短縮のため省略 |
| 5. | 開 会 の 挨 拶 | 大 会 会 長 阪 梨 學 京 都 府 空 手 道 連 盟 会 長 |
| 6. | 競 技 上 の 注 意 | ※感染防止対策による時間短縮のため省略 |
| 7. | 選 手 宣 誓 | ※感染防止対策による時間短縮のため省略 |
| 8. | 閉 式 通 告 | |

10:00~

競 技 開 始

Tatami 1

Tatami 2

AM (女子のみ) 10:00~

- | | | | |
|---|----------|---|----------|
| ① | 女子個人形競技 | ① | 女子個人形競技 |
| ② | 女子団体形競技 | ② | 女子団体形競技 |
| ③ | 女子個人組手競技 | ③ | 女子個人組手競技 |
| ④ | 女子団体組手競技 | ④ | 女子団体組手競技 |

PM (男子のみ) 14:00~

- | | | | |
|---|----------|---|----------|
| ① | 男子個人形競技 | ① | 男子個人形競技 |
| ② | 男子団体形競技 | ② | 男子団体形競技 |
| ③ | 男子個人組手競技 | ③ | 男子個人組手競技 |
| ④ | 男子個人団体競技 | ④ | 男子個人団体競技 |

※各コートにおいて決勝戦まで行います。

※全国大会の受付は、後日事務局から連絡させていただきます。

18:00~

閉 会 式

- | | | | | |
|----|----------|--------|-------|--------------|
| 1. | 開 式 通 告 | | | |
| 2. | 閉 会 宣 言 | 大会副委員長 | 小寺 修好 | 京都府空手道連盟副理事長 |
| 3. | 閉 式 通 告 | | | |
| 4. | 審判団・選手退場 | | | |

大会役員

順不同 敬称略

大会名誉会長	津山 捷泰							
大会会長	阪梨 學							
大会副会長	荒賀 正孝							
大会委員長	古川 孝							
大会副委員長	内田慎一郎	藤田 進二	小寺 修好	檜葉 芳之				
大会実行委員長	三木 貴嗣							
大会副実行委員長	伊田 行秀	村田 尚史	川本 弘彦	小倉 進一	藤田 土門			
大会参与	安東 浩介 久貝 久雄	伊賀 章一	小川 眞吾	朴原 玄	谷口 芳宣	柏原 定郎		
大会委員	井田 匡昭 竹下 金男 中野 秀人 土屋 丈司 國本 秀雄 藤本 進 稻荷 晴之	砂子坂 隆 林 誠次 逢坂 匡一 民野 武史 迫田 英昭 博田 洋司 村上 孝博	稲垣 広幸 奥野 隆久 岡村 康秀 水野 高士 柏原 久美 小川 眞一 小川 悟司	松本 昭 金田 修 谷 賢一 多門 雅弘 田村 明敬 長谷川茂樹 原 典浩	尾之上幸照 上村 雅彦 前原 裕介 三井喜美代 若林 克次 長谷川 誠 檜葉 大輔	大原 美緒 佐々木和弘 福田 明 谷本加葉子 渡邊 美穂 森川 孝誠 中村 拓治		
大会実行委員	青木 勲 青山 佳生 浅井 敬央 伊賀 剛 伊川 禎夫 池田 稔彦 石井 照夫 稻原 実 大野 繁行 大濱 正 佐藤 敏泰	加藤 正樹 加藤 正如 北野 宏 糸田 力 糸田 厚子 小谷 正博 小寺 正樹 後藤 源輝 小森美智代 坂尾 敬士	砂賀 佳和 袖山 響 高橋 武丸 竹内 英二 竹嶋 祥司 細見 昌嗣 出口 義人 出口 正道 鳥居 幸子 中野さおり	西村 裕之 樋口 耕史 福井 翔大 藤原 弘喜 古川 哲也 吉野裕次郎 曲淵 訓和 松尾 十蔵 松村 唯明 松本 和久	村上 真哉 山本 晃三 山本 正己 渡邊 佑資 河村 臣輝 西澤 敦史 須磨 伊織 村上 泰肅 大橋 春男 池端 智久	柿倉 逸人 鍛冶 光一 澤田 典男 塩月 政臣 西垣 聡司 皆川 司 村岡 亜紀 島田 敏和 岡本 洋子 三木 綾野		

大会特別役員

順不同 敬称略

大会名誉会長	津山 捷泰		
相談役	伊賀 章一	安東 浩介	
技術顧問	塩見 明	津山 捷泰	

大会審判員

順不同 敬称略

審判長	古川 孝						
審判員	小寺 修好	村田 尚史	能崎 一範	三木 貫嗣	金田 修	川本 弘彦	
	小倉 進一	三井喜美代	小久保卓哉	原 典浩			
	檜葉 芳之	松本 智之					

大会運営委員

順不同 敬称略

コート係員	松本 智之	保坂 朋宏	保坂 朋宏	佐藤 敏泰	水口 優	山根 健吾	
	加藤 正之	安井 準和	米丸 晃司	高橋 幸太	中村 真理		
記録	伊田 行秀						
放送	三木 綾野						

大会ドクター

敬称略

中村クリニック 中村 良雄 (日本スポーツ協会公認スポーツドクター)

新型コロナウイルス感染拡大対策

○入場時 [役員・審判員・係員・監督・選手・保護者]

役員・審判員・係員・監督・選手は、受付時に連絡先確認用紙兼健康管理チェックシートを提出の上、検温。
保護者は、選手と同時に入場し、受付にて一般入場者連絡票を提出の上、検温。

○選手・監督・コーチによる以下の行為は自粛すること

- ①写真撮影、サイン、握手、ハイタッチ、円陣等
- ②グリーティングやお出迎え・お見送り
- ③プレゼントやお手紙等の贈り物の授受
- ④選手同士の声を出しての応援、アドバイス

※選手が整列する時は、縦、横の間隔は1 m 以上は確保すること

○観客席

・応援は拍手のみとし、声を出しての声援はしないこと。 ソーシャルディスタンスを保つこと。

<形競技>

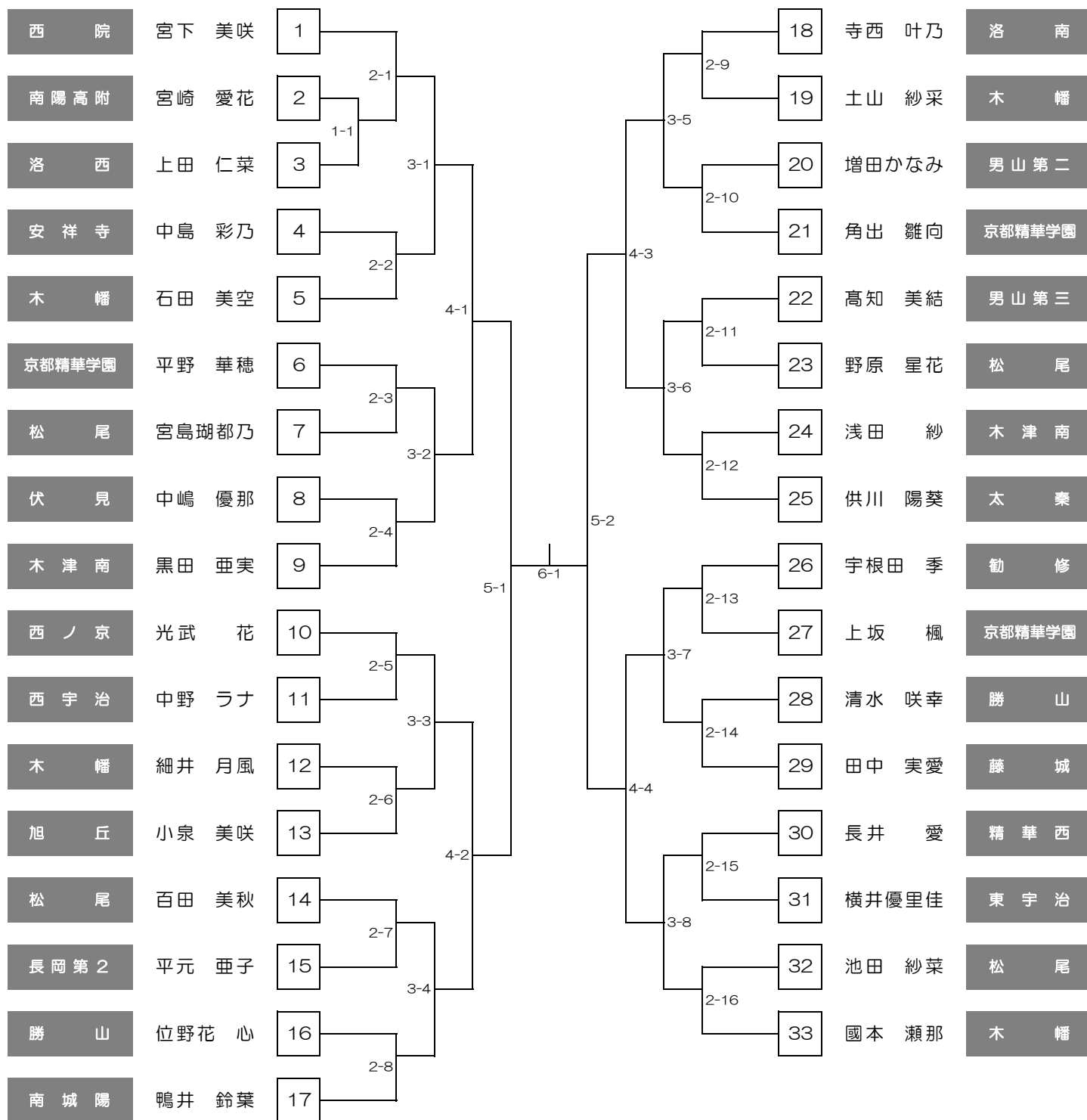
- ・試合場への入退場時はマスクを着用することとし、競技中マスク着用の義務はない。
- ・形名の呼称は行い、競技中の気合い発声は可とする。
- ・団体形は、1チームずつ行う。

<組手競技>

- ・原則としてメンホー+メンホー用口元シールドの着用を義務付ける ミズノ製のメンホー用口元シールドを推奨する。
- ・競技場への入退場時はマスク着用、競技中はメンホー+メンホー用マウスシールド装着、競技中の気合い発声は可。
- ・試合中メンホー或いはマウスシールドが取れた場合、試合は一旦停止をし、防具を装着し、試合を再開すること。

女子個人形競技

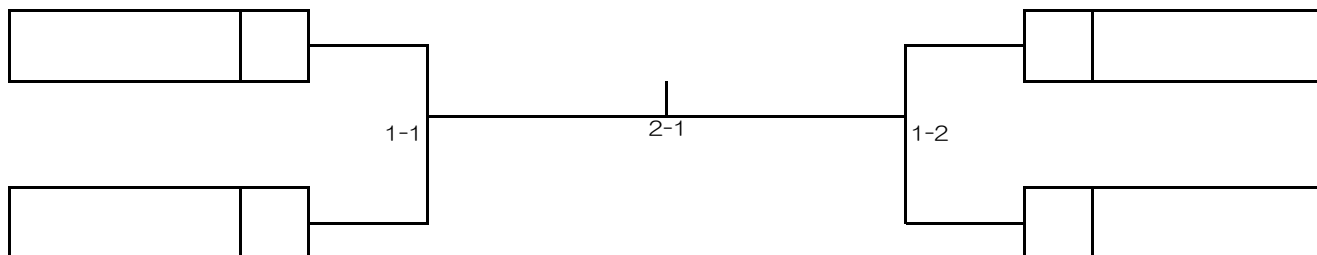
表彰対象者：優勝、準優勝、第3位、第3位



- 個人戦は、決勝まで2名同時に演武する。
- 審判員5名によるトーナメント方式で赤・青のフラッグ方式とする。
- 1、2回戦は、(公財)全日本空手道連盟第I指定形とし、繰り返してもよいものとする。
- 3、4回戦は、(公財)全日本空手道連盟第II指定形とし、繰り返してもよいものとする。
- 準々決勝以降(5回戦以降)は自由形とし、繰り返してもよいものとする。ただし、1~4回戦で用いた形は使用できない。

女子団体形競技

表彰対象：優勝、準優勝



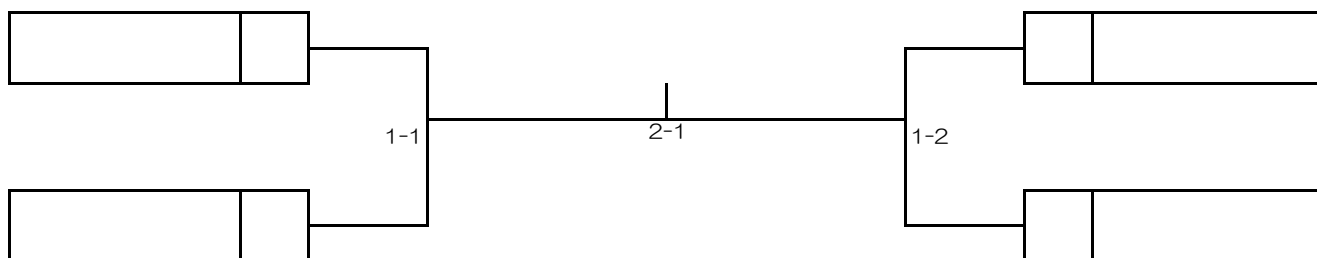
学校名	No.	登録選手氏名
洛北中	1	小西 桃子・三浦 咲都・小林茉奈佳・谷 春花
京都精華学園中	2	平野 華穂・角出 雛向・水口 惺月・上坂 楓
木津南中	3	黒田 亜実・中川 瑞希・浅田 紗
木幡中	4	石田 美空・細井 月風・河合 楓香・國本 瀬那・土山 紗采

※1) 組み合わせは、クジ引きにて当日決定する。

※2) 1回戦→第1指定形、2回戦→第2指定形、決勝戦→得意形

女子団体組手競技

表彰対象：優勝、準優勝



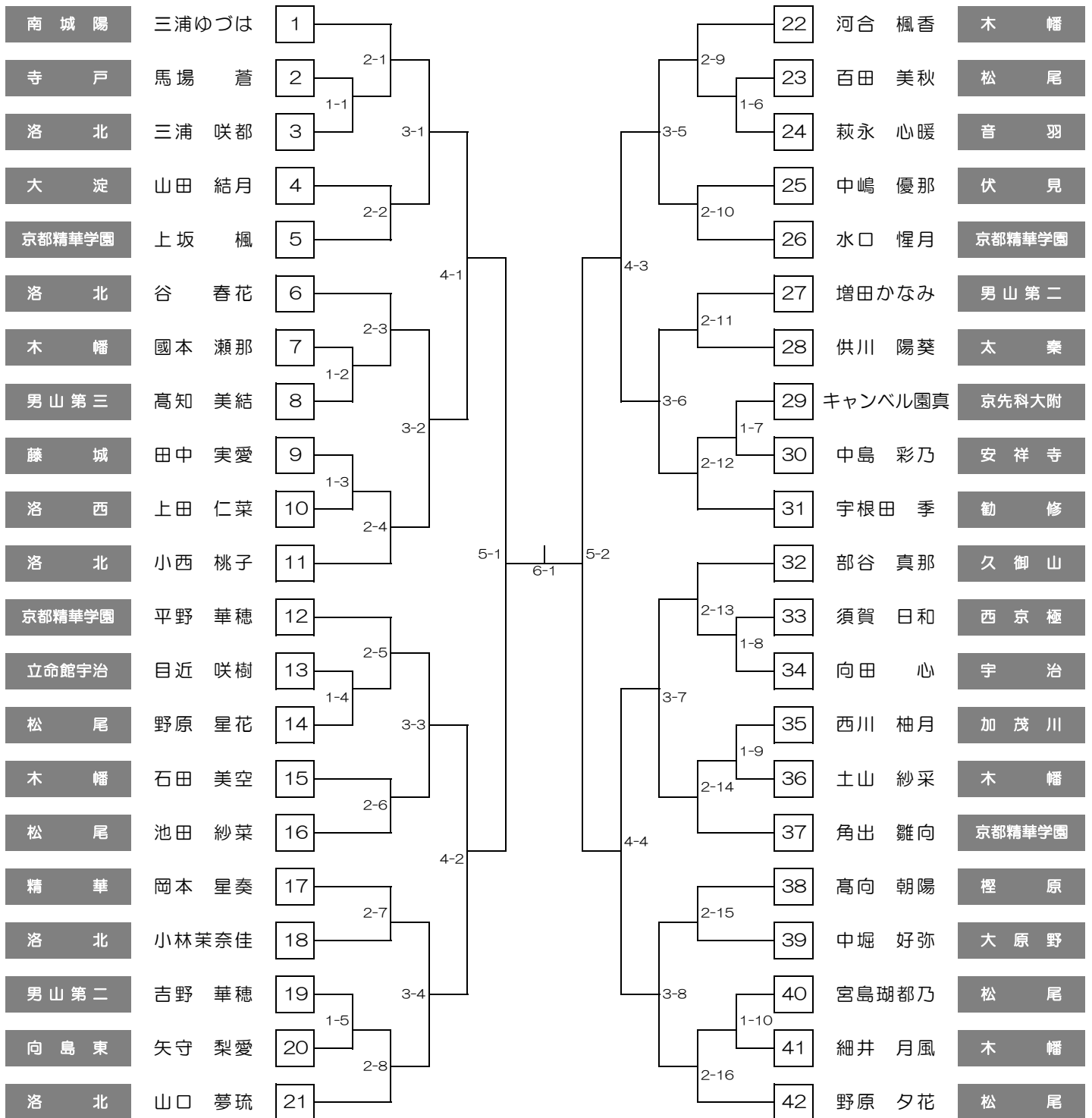
学校名	No.	登録選手氏名
京都精華学園中	1	平野 華穂・角出 雛向・水口 惺月・上坂 楓
木幡中	2	石田 美空・細井 月風・河合 楓香・國本 瀬那・土山 紗采
松尾中	3	百田 美秋・池田 紗菜・野原 夕花・野原 星花
洛北中	4	小西 桃子・三浦 咲都・小林茉奈佳・山口 夢琉・谷 春花

※1) 組み合わせは、クジ引きにて当日決定する。

※2) 団体組手競技は学校対抗、登録選手5名までの3人制とし、混成チームは認めない。

女子個人組手競技

表彰対象者：優勝、準優勝、第3位、第3位

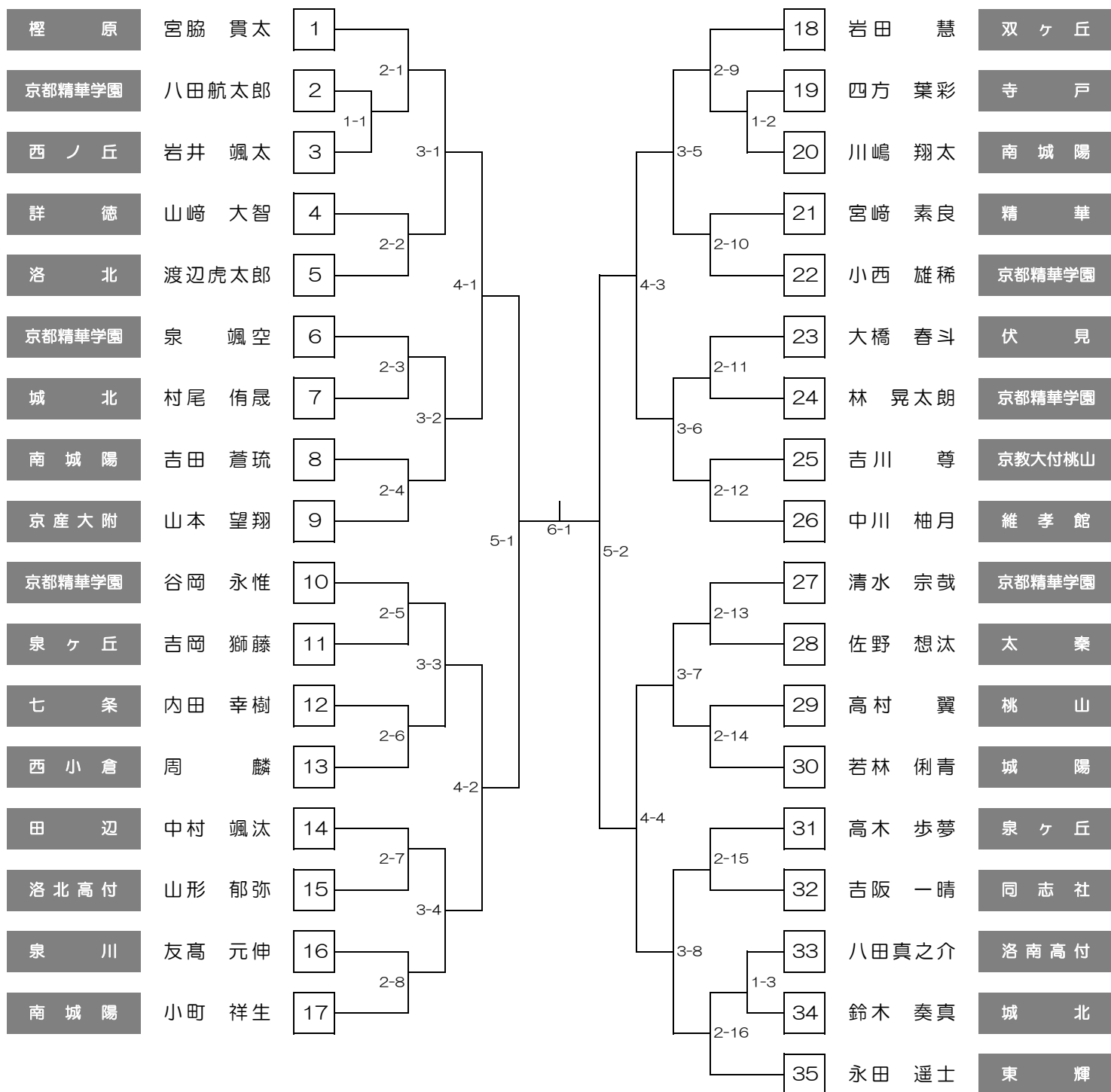


小さい数字が赤

- ①競技時間は1分30秒フルタイムとする。
 - ②勝敗は、競技時間内に6ポイント差が生じた場合、又は競技終了時に得点の多い選手を勝ちとする。
 - ③無得点または同点で先取が取り消されている場合、副審4名と主審の判定により勝者を決する。
 - ④決勝戦は、各コートで予戦からすべて競技する。
- <判定基準> ①態度、闘争精神、力強さ ②戦略及び技術の優劣 ③多くの技をしかけた選手

男子個人形競技

表彰対象者：優勝、準優勝、第3位、第3位



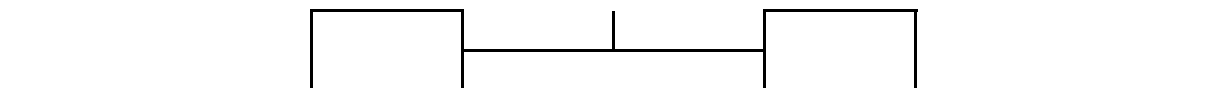
- 個人戦は、決勝まで2名同時に演武する。
- 審判員5名によるトーナメント方式で赤・青のフラッグ方式とする。
- 1、2回戦は、(公財)全日本空手道連盟第I指定形とし、繰り返しでもよいものとする。
- 3、4回戦は、(公財)全日本空手道連盟第II指定形とし、繰り返しでもよいものとする。
- 準々決勝以降(5回戦以降)は自由形とし、繰り返しでもよいものとする。ただし、1~4回戦で用いた形は使用できない。

男子団体形競技

表彰対象：優勝、準優勝

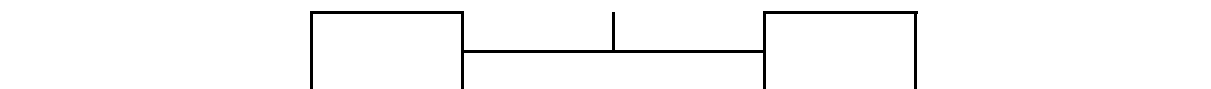
予選Round 1

(第1指定形)



予選Round 2

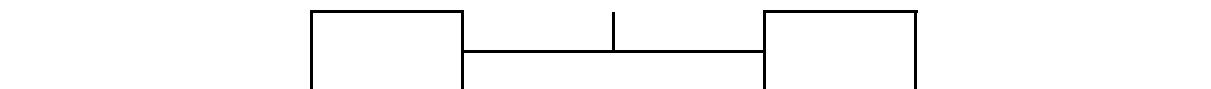
(第1指定形)



(予選Round 1の敗者)

決勝Round

(第2指定形)



精華中学校	洛北中学校	京都精華学園中学校
坂西 橙馬	下村 陽	茨木 翔大
西村 太陽	千田 康誠	小西 雄稀
藤村 銀士	千田 勝己	清水 宗哉
		八田航太郎
		林 晃太郎

○1校1チームとし、1チームずつ演武する。

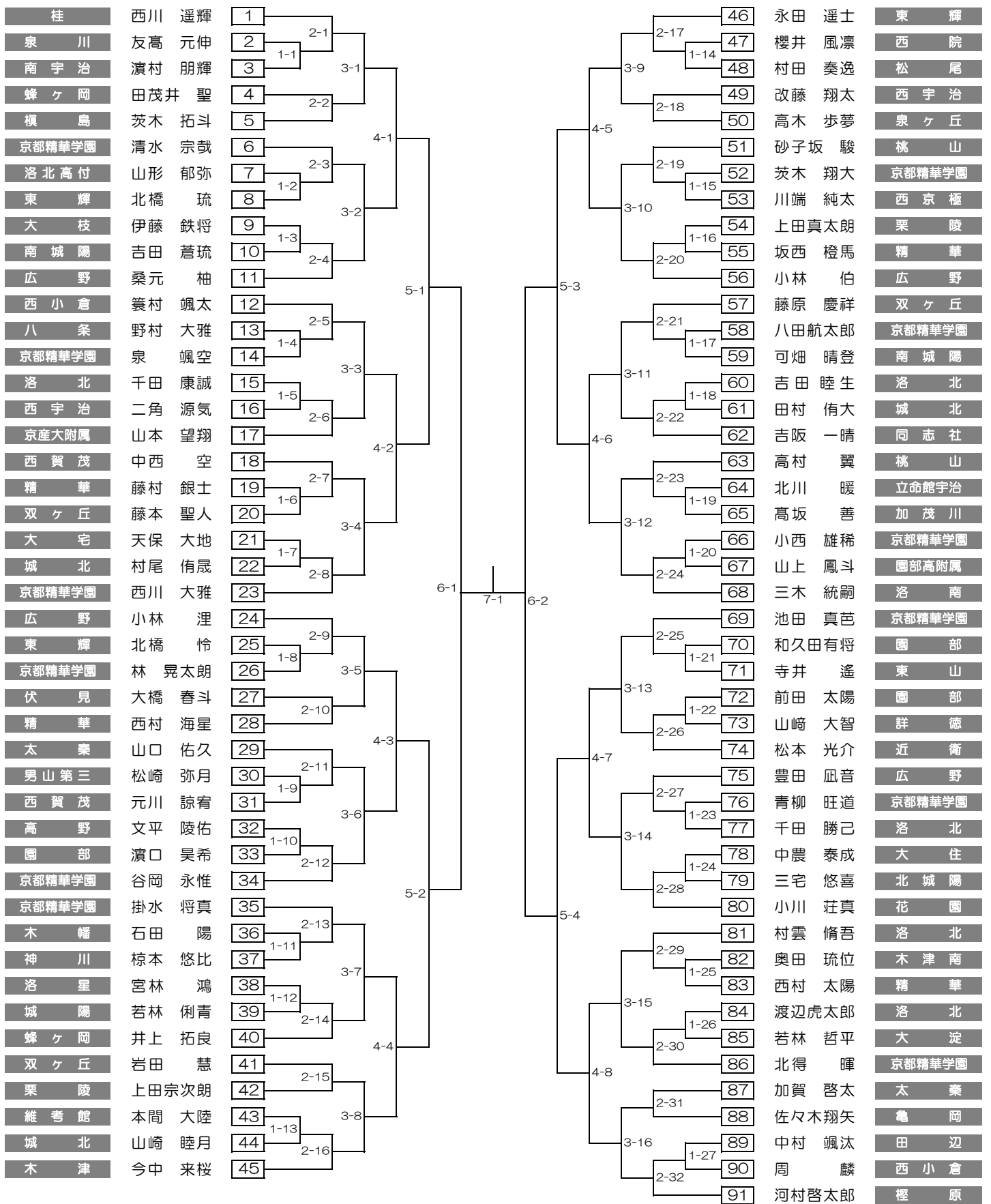
○審判員5名によるフラッグ方式とする。

※1) 組み合わせは、クジ引きにて当日決定する。

※2) 予選Round1→第1指定形、決勝Round→第2指定形

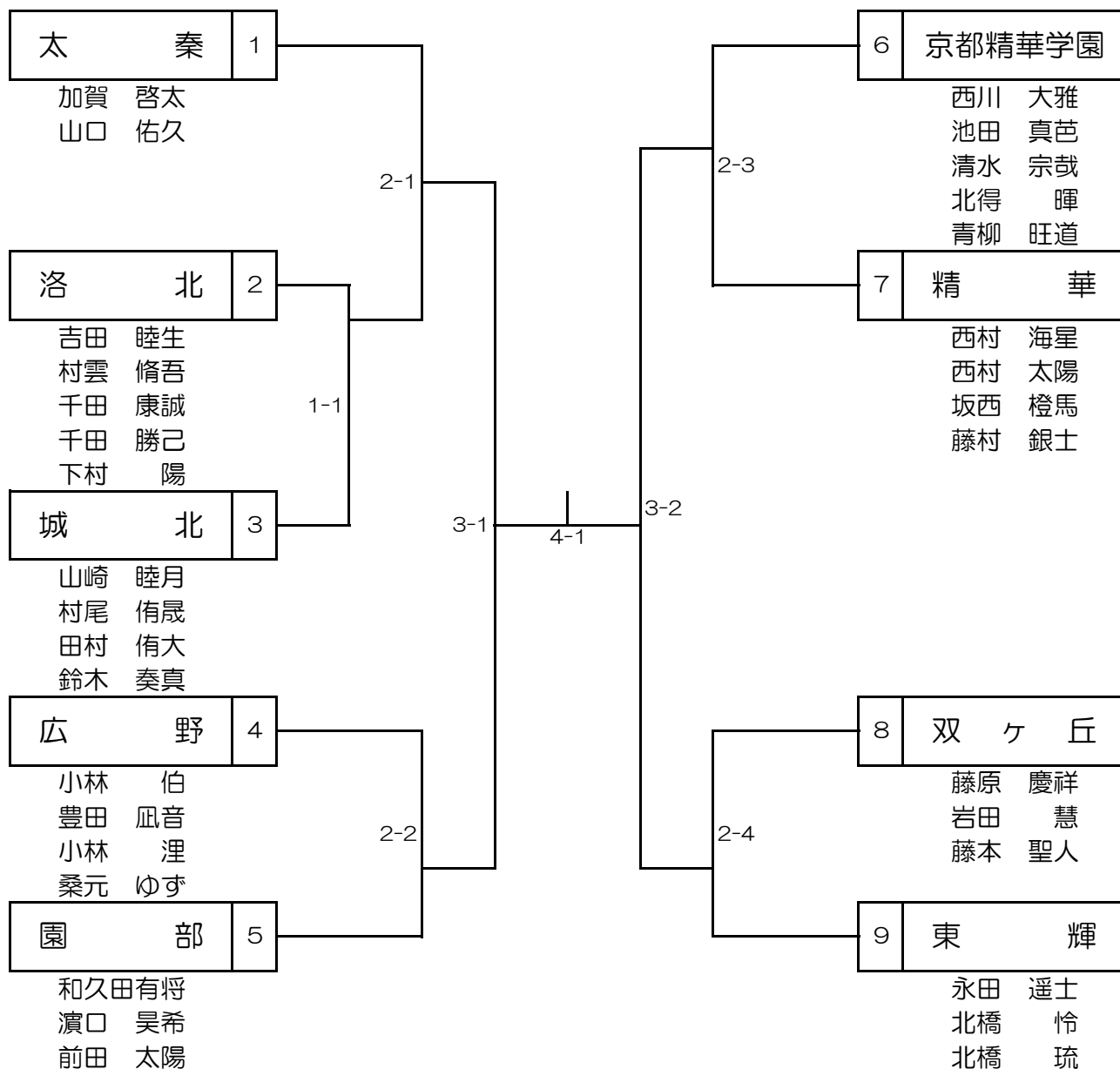
男子個人組手競技

表彰対象者：優勝、準優勝、第3位、第3位



男子団体組手競技

表彰対象：優勝、準優勝



小さい数字が赤

- ①競技時間は1分30秒フルタイムとする。
- ②勝敗は、競技時間内に6ポイント差が生じた場合、又は競技終了時に得点の多い選手を勝ちとする。
- ③無得点または同点で先取が取り消されている場合、副審4名と主審の判定により勝者を決する。
- ④決勝戦は、各コートで予戦からすべて競技する。
- ⑤登録された選手のオーダー変更は回戦毎に自由とする。
- ⑥団体組手競技は学校対抗、登録選手5名までの3人制とし、混成チームは認めない。
- ⑦団体組手は2名でも参加可能とし、その場合は先詰めとする。